

答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 2 大学	律令制下において、式部省の管轄のもとで貴族や郡司の子弟を対象に官吏を養成する中央の教育機関として大学（大学寮）が置かれた。平安時代に有力貴族が設けた大学別曹は、この大学に通う一族の子弟の勉学や生活をサポートするための寄宿施設であった。
問2	答え 2 奥州藤原氏	前九年の役・後三年の役を経て陸奥国を掌握した藤原清衡は、平泉を本拠地として中尊寺を建立した。清衡・基衡・秀衡の3代にわたって独自の仏教文化を花開かせ、豊富な金や馬の産出を背景に、中央の摂関家とも結びつきながら繁栄を極めた。
問3	答え 2 大安寺	『日本霊異記』に登場する、経典研究組織（修多羅分）の資金を民間人に貸し出していた寺院は大安寺である。大安寺は舒明天皇が建立した百済大寺を起源とし、平城京遷都に伴って移転・改称された大官大寺の後身であり、入唐留学僧の道慈がその造営を主導した。史料からは、こうした大寺院の資金が民間の商業活動の元手として活用されていた実態がうかがえる。
問4	答え 2 日本書紀	律令国家の確立期において、国内外に自国の正当性を示す国家意識の高まりを背景に、国家の正史の編纂が進められた。天武天皇の命に始まり、舎人親王らが中心となって編纂され、720年に完成したこの歴史書は、中国の正史の形式（漢文・編年体）を採用して国家の正統性を対外的にアピールする役割を持っていた。
問5	答え 2 三宝	十七条憲法の第二条には「篤く三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり」と記されている。これは、豪族間の対立を収め、中央集権的な国家体制を構築するために、仏教の教えを共通の精神的支柱として導入しようとした意図を示している。
問6	答え 1 位田	律令制下の土地支給制度において、官職に伴う「職田」や、勲功に対する「功田」とは区別され、個人の位階（五位以上）に基づいて支給された土地である。この土地は、職田が不輸租（免税）であったのに対し、原則として輸租（課税）の対象であった。
問7	答え 4 石鏃	縄文時代には、狩猟具である弓矢の普及に伴い、その先端に取り付けるための石器が大量に作られた。この石器の原材料には黒曜石やサヌカイトなどが用いられ、産地から遠隔地へと交易を通じて流通した。
問8	答え 4 高地性集落	弥生時代中期から後期にかけて、瀬戸内海沿岸や大阪湾沿岸などの標高の高い山頂や丘陵上に営まれた集落は高地性集落と呼ばれる。これらは平地から離れて生活には不便な場所にあり、倭国大乱などの戦乱期における軍事的な防衛や監視、あるいは烽火（のろし）台としての機能を持っていたと考えられている。なお、乗馬の風習や須恵器（硬質の土器）は古墳時代になってから朝鮮半島より伝わったものであり、弥生時代には存在しない。
問9	答え 1 蘇我氏	6世紀に朝鮮半島の百済から仏教が公伝すると、大和政権内ではその受容をめぐる対立が起こった。渡来系氏族と密接に結びつき、彼らの持つ先進的な技術や文化、仏教を積極的に受容して朝廷内での地位を高めようとしたのが蘇我氏であり、伝統的な祭祀を重視して仏教受容に反対した物部氏と対立した。
問10	答え 3 阿衡 of the 紛議	宇多天皇が即位した際、藤原基経に関白職を授ける勅書の中に「阿衡の職に任ず」とあったことに基経が反発し、政務を拒否した。これにより宇多天皇は勅書を撤回せざるを得なくなり、藤原氏の権勢を示すこととなった。この事件は宇多天皇の在位中に起きたものであり、のちの醍醐天皇の在位中に起きた昌泰の変や唐の滅亡、意見封事十二箇条の提出などとは時期が異なる。
問11	答え 1 橘逸勢	804年の遣唐使で空海らとともに唐に渡った橘逸勢は、書に秀でており、嵯峨天皇、空海とともに「三筆」と称された。しかし、842年の承和の変において、伴健岑らとともに皇太子恒貞親王を奉じて謀反を企てたとして捕らえられ、伊豆国へ流罪となる途上で病没した。

高校日本史プリント (過去問類似)

原始・古代 No.7

名前

得点

/10

問1 平安時代中期以降、貴族は朝廷の儀式や先例を子孫に伝えるため、詳細な日記を書き残すようになった。このうち、藤原実資によって著され、藤原道長が詠んだ「この世をば」の歌が記録されていることでも知られる日記は何か。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 兵範記 2. 左経記 3. 中右記 4. 小右記

問2 平安時代初期に、真言宗の開祖である僧侶が京都に設立した、庶民や僧侶を対象とした日本最初の私立の教育機関は何か。

(2004年 全国公立入試 類似)

1. 足利学校 2. 大学別曹 3. 金沢文庫 4. 綜芸種智院

問3 平安時代初期、有力な貴族は大学に学ぶ一族の子弟のために大学別曹と呼ばれる施設を設けた。このうち、藤原氏によって設置され、のちに大学の教官から講義を受けるなど教育機関としての性格を強めたものは何か。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 勸学院 2. 奨学院 3. 弘文院 4. 学館院

問4 平安時代の貴族は、宮廷における儀式や年中行事、先例などの知識や経験を正確に記録し、家職を継承する子孫へ伝えるために漢文による日記を残した。こうした日記のうち、摂関政治の全盛期を築いた人物が自ら執筆し、当時の政治や宮廷生活の様子を伝える自筆本が現存していることで知られる日記は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 中右記 2. 貞信公記 3. 小野宮記 4. 御堂関白記

問5 平安時代中期に建立され、その初層内部の板壁や柱に、真言密教の教理を視覚的に表現した絵画が描かれている、京都に現存する最古の木造五重塔をもつ寺院はどこか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 園城寺 2. 醍醐寺 3. 延暦寺 4. 神護寺

問6 9世紀初め、平城太上天皇と嵯峨天皇の対立を背景に、平城京への復都を目指した藤原仲成らが拳兵を凶って失敗する事件が起こった。この事件を契機に、嵯峨天皇は機密保持と迅速な命令伝達のために蔵人頭を設置し、天皇の命令が太政官へ伝達される体制を整えた。この、のちに蔵人所が設置される契機となった政争を何というか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 安和の変 2. 承和の変 3. 昌泰の変 4. 葉子の变

問7 7世紀後半の地方支配の実態を示す史料として、藤原京跡などから出土した木簡が挙げられる。『日本書紀』の改新の詔には、地方行政組織として「国・郡・里」を整備したと記されているが、これらの木簡の分析により、701年の大宝令が施行されるまでは、「郡」ではなく別の漢字で表される行政単位が置かれていたことが明らかになった。この大宝令以前に用いられていた地方行政単位を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 国 2. 郡 3. 里 4. 評

問8 縄文時代に製作された、粘土を焼き固めた人形(ひとがた)の造形物について述べた文として正しいものはどれか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 銅鏡 2. 石棒 3. 銅鐸 4. 土偶

問9 6世紀半ばの欽明天皇の時代頃に朝廷でまとめられたとされる、大王の系譜を記したものと、神話や伝承を記したものの総称で、のちに天武天皇の命によって編纂が始まり、8世紀に完成した『古事記』や『日本書紀』の原史料となったとされる史料を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 帝紀・旧辞 2. 古事記・風土記 3. 天皇記・国記 4. 古事記・日本書紀

問10 志賀島で「漢委奴国王」の金印が授与されたとされる時代には、農耕社会の成立に伴う集落間の争いに備え、周囲に深い堀や土塁を巡らせた防衛機能を持つ集落が形成された。見張り用の高床建物跡などが検出されている、このような特徴を持つ集落の形態を何と呼ぶか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 拠点集落 2. 環濠集落 3. 高地性集落 4. 環状集落

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 4 小右記	平安時代中期以降、家職の固定化に伴い、朝廷の儀式や先例（有職故実）を子孫に伝えるための日記が盛んに書かれた。小野宮流の藤原実資が著した『小右記』は、当時の政治や社会を知るための貴重な史料であり、藤原道長が詠んだ「この世をば」の歌が記録されていることでも有名である。
問2	答え 4 綜芸種智院	平安時代初期、空海は身分に関わらず庶民や僧侶が広く学べる場として、京都に日本初の私立学校を創設した。当時の公的な教育機関であった大学や国学が貴族や郡司の子弟に限定されていたのに対し、広く門戸を開いた点に特徴がある。
問3	答え 1 勸学院	平安時代初期、有力貴族は一族の学問を奨励し、大学に学ぶ子弟を支援するために大学別書を設置した。藤原氏が設けた勸学院のほか、和気氏の弘文院、橘氏の学館院、在原氏の奨学院などがある。
問4	答え 4 御堂関白記	平安貴族が日記を執筆した重要な目的は、朝廷の儀式や公事の作法、過去の先例などの実務的知識を記録し、子孫へ伝えることにあった。藤原道長が執筆した『御堂関白記』は、その代表例であり、自筆本が現存する世界最古の日記としてユネスコの「世界の記憶」に登録されている。
問5	答え 2 醍醐寺	醍醐寺五重塔は951年に完成した京都府下最古の木造建築物である。その初層内部には、密教の教理に基づく両界曼荼羅や真言八祖像などの壁画が描かれており、密教的な空間が構成されている。
問6	答え 4 薬子の変	嵯峨天皇と平城太上天皇（平城上皇）の対立を背景に、平城上皇の復権と平城京への復都を企てた藤原薬子や藤原仲成らが挙兵に失敗した事件である。この事件を機に、嵯峨天皇は機密保持と迅速な命令伝達のために蔵人頭を設置し、天皇の命令が蔵人所を通じて太政官に伝達される体制が整えられた。別名「平城太上天皇の変」とも呼ばれる。
問7	答え 4 評	『日本書紀』には大化の改新の際に「郡」が設置されたと記述されているが、これは後世の編纂時に大宝律令制定後の制度に合わせて書き換えられたものである。藤原京跡などから出土した木簡の分析により、大宝令が施行されるまでは「評」という文字が用いられており、大宝律令の制定によって初めて「郡」に改められたことが明らかになった。このように、文献史料と考古学史料（木簡）の比較によって歴史の実態が解明された好例である。
問8	答え 4 土偶	縄文時代に作られたこの造形物は、女性をかたどったものが多く、繁殖や生命力、豊かな生産力を祈る呪術的な意味があったと考えられている。また、病気や怪我の治癒を祈って意図的に破壊されたとみられるものが多く、完全な形で出土することは極めて稀である。古墳の墳丘や周囲に並べられたのは埴輪であり、これとは区別される。
問9	答え 1 帝紀・旧辞	6世紀半ばの欽明天皇期頃に、朝廷において大王（天皇）の系譜を記した「帝紀」と、神話や伝承を記した「旧辞」がまとめられたとされる。これらは、天武天皇の命によって舎人親王や太安万侶らが編纂に関わり、奈良時代に完成した『古事記』や『日本書紀』の原史料となった。蘇我馬子が聖徳太子とともに編纂したとされる『天皇記』や『国記』は、乙巳の変の際に多くが焼失したと伝えられており、これらとは区別して理解する必要がある。
問10	答え 2 環濠集落	稲作の普及に伴って共同体間の対立や戦争が生じるようになると、集落の周囲に深い堀や土塁を巡らせて防衛機能を高めた集落が発達した。佐賀県の吉野ヶ里遺跡などに代表されるこの集落形態では、何重もの堀や見張り用の高床建物跡などが検出されている。なお、温暖化による海面上昇や貝塚の形成は主として縄文時代、半地下式の窯で焼かれる須恵器は古墳時代、ナウマン象の狩猟は旧石器時代の特徴である。

問1 縄文時代に広く行われていた交易を示す遺物として、十勝岳や和田峠などで産出する火山性の天然ガラスを原材料とし、弓矢の先端に装着して狩猟に用いられた石器を何というか。(2004年 全国公立入試 類似)

1. 石皿 2. 石匙 3. 石斧 4. 石鏃

問2 8世紀初頭、律令国家は平城京への遷都と並行して、大規模な都城建設の財源を確保するため、また国家の権威を示すために、新たな貨幣の鑄造を開始した。武蔵国から銅が献上されたことを契機に発行され、のちに蓄銭叙位令によって流通が促された、この貨幣の名称として最も適当なものを答えよ。(2005年 全国公立入試 類似)

1. 神功開宝 2. 隆平永宝 3. 和同開珎 4. 万年通宝

問3 平安時代中期、娘たちを次々と天皇の后として入内させ、後一条・後朱雀・後冷泉の3代の天皇の外祖父となることで、摂関政治の全盛期を築いた人物は誰か。(2006年 全国公立入試 類似)

1. 藤原頼通 2. 藤原良房 3. 藤原基経 4. 藤原道長

問4 文献史料が残されていない先史時代の日本列島における人々の生活や社会の様子を明らかにするためには、地中から発掘された土器や石器、住居跡などの物質的資料(遺物や遺構)の分析が不可欠である。このような、文字記録に頼らずに具体的なモノの分析を通じて過去の人類の歴史や文化を研究する学問分野を何というか。(2006年 全国公立入試 類似)

1. 人類学 2. 文献学 3. 考古学 4. 民俗学

問5 平安時代の貴族が居住した、中心となる建物と対屋(たいのや)などを渡殿(わたどの)と呼ばれる廊下で結んだ、壁が少なく開放的な住宅様式を何というか。(2025年 全国公立入試 類似)

1. 寝殿造 2. 書院造 3. 合掌造 4. 武家造

問6 奈良時代、律令国家は和同開珎などの貨幣を鑄造し、その流通を促進するために、錢貨を一定額以上蓄えて政府に納めた者に位階を授ける制度を設けた。この制度を何というか。(2005年 全国公立入試 類似)

1. 私鑄錢禁止 2. 蓄銭叙位令 3. 和同開珎 4. 本朝十二錢

問7 10世紀前半、関東における平将門の反乱と、瀬戸内海における藤原純友の反乱という、地方政治の混乱と武士の台頭を象徴する一連の動乱を総称して何と呼ぶか。(2004年 全国公立入試 類似)

1. 承平・天慶の乱 2. 治承・寿永の乱 3. 保元・平治の乱 4. 菅原道真の左遷

問8 律令制下において、50戸から2人の割合で徴発され、都に送られて宮廷や中央官庁での様々な雑務に従事した労役を何というか。(2004年 全国公立入試 類似)

1. 雑徭 2. 仕丁 3. 兵士 4. 防人

問9 平安時代の政治史において、宇多天皇が発した勅書に用いられた中国の官職名に由来する表現をめぐり、藤原基経が反発して政務をボイコットし、最終的に天皇に勅書を撤回させた事件は何か。(2006年 全国公立入試 類似)

1. 承和の変 2. 薬子の変 3. 阿衡 of the 紛議 4. 安和の変

問10 弥生時代中期から後期にかけて、瀬戸内海沿岸や大阪湾周辺などの山頂や丘陵上に営まれた、軍事的な防衛機能や監視機能を持つとされる集落を何というか。(2005年 全国公立入試 類似)

1. 低地性集落 2. 環状集落 3. 環濠集落 4. 高地性集落

問11 平安時代に有力貴族が一族の子弟を寄宿させる私的な施設を設けたのは、律令制下において式部省が管轄した中央の官吏養成機関に通わせるためであった。この官吏養成機関を何というか。(2004年 全国公立入試 類似)

1. 藩校 2. 大学 3. 郷学 4. 国学

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 4 石鏃	縄文時代には、狩猟具である弓矢の普及に伴い、その先端に取り付けるための石器が大量に作られた。この石器の原材料には黒曜石やサヌカイトなどが用いられ、産地から遠隔地へと交易を通じて流通した。
問2	答え 3 和同開珎	708年（和銅元年）に武蔵国から秩父産の銅が献上されたことを契機に、元明天皇の治世下で鑄造が開始された。この貨幣の鑄造目的は、平城京の建設資金（都城建設の造営費用）を賄うことや、律令国家としての権威を内外に示すことにあった。政府は流通を促進するために、錢貨を蓄えた量に応じて位階を授ける蓄銭叙位令を711年に発布した。
問3	答え 4 藤原道長	娘の彰子・妍子・威子らを次々と入内させ、生まれた皇子がそれぞれ後一条・後朱雀・後冷泉天皇として即位したことで、3代にわたって天皇の外祖父となり、摂政や内覧として権勢を極めた。彼の建立した法成寺は、その栄華を象徴する寺院である。白河上皇が設置した北面の武士や、藤原頼通が宇治の別荘を改めた平等院、後白河法皇に伝領された長講堂領などは、彼の事績とは異なる。
問4	答え 3 考古学	文字記録が存在しない、あるいは極めて限られている先史時代などの歴史を解明するためには、地中から発掘された土器や石器などの遺物、あるいは住居跡や貝塚などの遺構といった物質的資料を分析することが不可欠である。このような物質的資料をもとに過去の人類の歴史や文化を研究する学問を考古学と呼ぶ。これに対し、文字による文献史料を主たる研究対象とするのが文献史学であり、伝承や民俗行事などを対象とするのが民俗学である。
問5	答え 1 寝殿造	平安時代の貴族の代表的な邸宅様式であり、庭園に池を設け、釣殿などを配した。室町時代以降に発達し、違い棚や付書院を備えた書院造とは、壁が少なく開放的である点などで大きく異なる。
問6	答え 2 蓄銭叙位令	律令国家は貨幣の流通を促すため、711年に蓄銭叙位令を発布し、錢を貯蓄して政府に納入した者に位階を授けるインセンティブを与えた。しかし、この制度は人々が錢を流通させずに手元に死蔵（退蔵）させる結果を招き、貨幣の円滑な流通をかえって妨げる要因となった。
問7	答え 1 承平・天慶の乱	10世紀前半の承平・天慶年間に、東国（関東）で新皇を自称した平将門の乱と、西国（瀬戸内海）で海賊を率いた藤原純友の乱がほぼ同時期に発生した。朝廷はこれらを鎮圧するために武士を動員せざるを得ず、この一連の動乱は「承平・天慶の乱」と呼ばれ、武士が歴史の表舞台に登場する契機となった。
問8	答え 2 仕丁	律令制下の負担のうち、地方の公民から徴発され、中央の役所で雑務に従事した労役を仕丁という。50戸（1郷）から2人の割合で徴発され、その都での食糧などは郷内の戸が共同で負担した。
問9	答え 3 阿衡 of the 紛議	宇多天皇が即位した際、藤原基経に関白職を授ける勅書の中に「阿衡の職に任ず」とあったことに基経が反発し、政務を拒否した。これにより宇多天皇は勅書を撤回せざるを得なくなり、藤原氏の権勢を示すこととなった。この事件は宇多天皇の在位中に起きたものであり、のちの醍醐天皇の在位中に起きた昌泰の変や唐の滅亡、意見封事十二箇条の提出などとは時期が異なる。
問10	答え 4 高地性集落	弥生時代中期から後期にかけて、瀬戸内海沿岸や大阪湾沿岸などの標高の高い山頂や丘陵上に営まれた集落は高地性集落と呼ばれる。これらは平地から離れて生活には不便な場所にあり、倭国大乱などの戦乱期における軍事的な防衛や監視、あるいは烽火（のろし）台としての機能を持っていたと考えられている。なお、乗馬の風習や須恵器（硬質の土器）は古墳時代になってから朝鮮半島より伝わったものであり、弥生時代には存在しない。
問11	答え 2 大学	律令制下において、式部省の管轄のもとで貴族や郡司の子弟を対象に官吏を養成する中央の教育機関として大学（大学寮）が置かれた。平安時代に有力貴族が設けた大学別書は、この大学に通う一族の子弟の勉学や生活をサポートするための寄宿施設であった。

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 3 市司	平城京の東市・西市は、市司（東市司・西市司）と呼ばれる官司によって厳しく管理されていた。市司は、市場での取引や価格の平準化、度量衡の検査などを担当し、自由な交易ではなく国家による統制取引が行われていた。
問2	答え 1 横穴式石室	6世紀になると、朝鮮半島からの技術的影響を受けて、石室の側面に外部とつながる通路（羨道）を設けた構造が普及した。これにより、一度埋葬した後に再び入り口を開けて、家族などを追葬することが可能となった。この変化は、古墳の被葬者層が従来の首長個人から、家族や親族といった共同体へと変化したことを示している。
問3	答え 2 書院造	室町時代の東山文化期などに発達した武家住宅の様式であり、畳を敷き詰め、障子や襖で部屋を仕切るなど、現代の和室の原型となった。平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造とは対照的な特徴を持つ。
問4	答え 1 承平・天慶の乱	10世紀前半の承平・天慶年間に、東国（関東）で新皇を自称した平将門の乱と、西国（瀬戸内海）で海賊を率いた藤原純友の乱がほぼ同時期に発生した。朝廷はこれらを鎮圧するために武士を動員せざるを得ず、この一連の動乱は「承平・天慶の乱」と呼ばれ、武士が歴史の表舞台に登場する契機となった。
問5	答え 1 防人	律令制下において、対外防備の要衝である九州北部の警備には、主に東国から徴発された兵士が充てられた。彼らは防人と呼ばれ、長旅や現地での負担が非常に重かったことが『万葉集』の防人歌などからも知られている。一方、のちに導入された健児は、郡司の子弟などの志願者からなる地方の少数精鋭の軍事組織であり、東国から派遣されたものではない。
問6	答え 2 瀬戸内海	藤原純友は伊予国（現在の愛媛県）の国司の任期を終えた後、瀬戸内海の内海を率いて反乱を起こした。この海域は古くから西国と都を結ぶ重要な海上交通路であり、純友はここを拠点に国府や大宰府を襲撃して朝廷を震撼させた。
問7	答え 2 箸墓古墳	3世紀中頃から後半にかけて、奈良盆地東南部の地に突如として出現した巨大な前方後円墳が箸墓古墳である。墳丘長は約280mに及び、それまでの弥生時代の墳丘墓とは一線を画す規模を持つ。前方部が撥状に広がり、西南西を向いている特徴的な形状をしており、時期の近さから『魏志』倭人伝に記された卑弥呼の「径百余歩」の冢（墓）に比定する説が有力視されている。
問8	答え 2 新羅	遣唐使の航路は、当初は朝鮮半島沿岸を進む安全な「北路」がとられていた。しかし、8世紀に入ると日本と新羅との関係が対立・悪化したため、新羅沿岸を通るルートの利用が困難になり、東シナ海を横断する危険な「南路」や「南島路」をとるようになった。
問9	答え 4 藏人所	薬子の変において、嵯峨天皇は平城太上天皇側に対する機密保持と迅速な命令伝達の必要性から、天皇の秘書官長として藏人頭を設置した。この藏人頭が率いる役所が藏人所であり、以後、天皇の命令（勅旨）を太政官へ伝達する重要な令外の官として機能するようになった。初代の藏人頭には藤原冬嗣や巨勢野足が任命された。
問10	答え 3 鉄器	弥生時代には大陸や朝鮮半島から鉄器と青銅器がほぼ同時に伝来した。このうち鉄器は、木製農具の刃先や工具、武器などの実用的な道具として用いられた。一方、青銅器は銅鐸や銅剣・銅矛・銅戈などの祭祀用の道具（祭器）として用いられ、青銅製の刃先をもつ農具は普及しなかった。また、これらの金属器はやがて日本列島内でも鋳型を用いて製作されるようになった。

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 1 防人	律令制下において、対外防備の要衝である九州北部の警備には、主に東国から徴発された兵士が充てられた。彼らは防人と呼ばれ、長旅や現地での負担が非常に重かったことが『万葉集』の防人歌などからも知られている。一方、のちに導入された健児は、郡司の子弟などの志願者からなる地方の少数精鋭の軍事組織であり、東国から派遣されたものではない。
問2	答え 1 斉明天皇	百濟復興を支援するために筑紫へ遷幸し、出兵の準備中に急死したのは斉明天皇（皇極天皇の重祚）である。彼女の死後、中大兄皇子が称制の形で政務を執り、白村江の戦いへと突き進むことになった。なお、中国皇帝から「親魏倭王」と認められたのは3世紀の卑弥呼であり、斉明天皇ではない。
問3	答え 1 空海	平安時代初期に唐へ留学した空海は、恵果から密教の正統を受け継いで帰国した。帰国後は嵯峨天皇らの支持を得て、高野山に金剛峰寺を、京都に東寺（教王護国寺）を与えられ、真言宗を確立した。密教の加持祈祷による現世利益の教えは、災厄を恐れ現世の繁栄を願う平安貴族に深く受け入れられた。
問4	答え 3 藤原実資	小野宮流の公卿である藤原実資は、藤原道長が権勢を振った時代に、道長に対して毅然とした態度を取りつつも、その栄華の様子（「望月の歌」など）を自身の日記『小右記』に克明に記録した。実資は実務や儀式に精通しており、その日記は当時の政治社会を知る一級の史料となっている。
問5	答え 2 聖武天皇	鎮護国家の思想に基づき、国分寺建立の詔や東大寺大仏造立の詔を出した。また、その治世には墾田永年私財法が制定され、土地制度が大きく転換した。養老律令の施行は、この天皇の退位後である757年（孝謙天皇の時代）に行われた。
問6	答え 1 小右記	藤原実資が著した『小右記』は、有職故実に通じた実務派官僚の視点から、当時の朝廷の儀式や政治の様子を詳細に記録した史料である。藤原道長が詠んだ「望月の歌」は道長自身の日記『御堂関白記』には記載されておらず、批判的立場でもあった実資の『小右記』に記録されていたことで後世に伝わった。
問7	答え 2 三代格式	律令制定後の社会の変化に対応するため、律令の規定を補足・修正する「格」と、その施行細則である「式」が編纂された。嵯峨天皇のときの弘仁格式、清和天皇のときの貞観格式、醍醐天皇のときの延喜格式を合わせて三代格式と呼ぶ。
問8	答え 2 良民	律令制下の身分制度は、大きく良民と賤民（五色の賤）に分けられていた。都で雑務に従事する仕丁は、課税対象となる公民、すなわち良民の戸から一定の割合で徴発された。
問9	答え 2 黒曜石	縄文時代には、石器の原材料である黒曜石が産地から遠く離れた場所で発見されており、広範囲な交易の存在を示している。黒曜石は主に鏃（矢の先端部分）などの利器に加工された。
問10	答え 4 令義解	律令の規定は時代が下るにつれて現実の社会制度と乖離し、官人の中で解釈の不一致が生じるようになった。これを是正し、行政運営の基準を一本化するために、国家の公式な注釈書として編纂された。これにより、公的な法解釈の基準が確立された。